

参 考 手 本

※これは規定課題ではありません。



天てんに漫はびこり雪寒ゆきかんを送おくる

高 木 聖 雨 先生

参 考 手 本

秋は水聲の中（うち）に在り

秋は水聲の中  
に在り

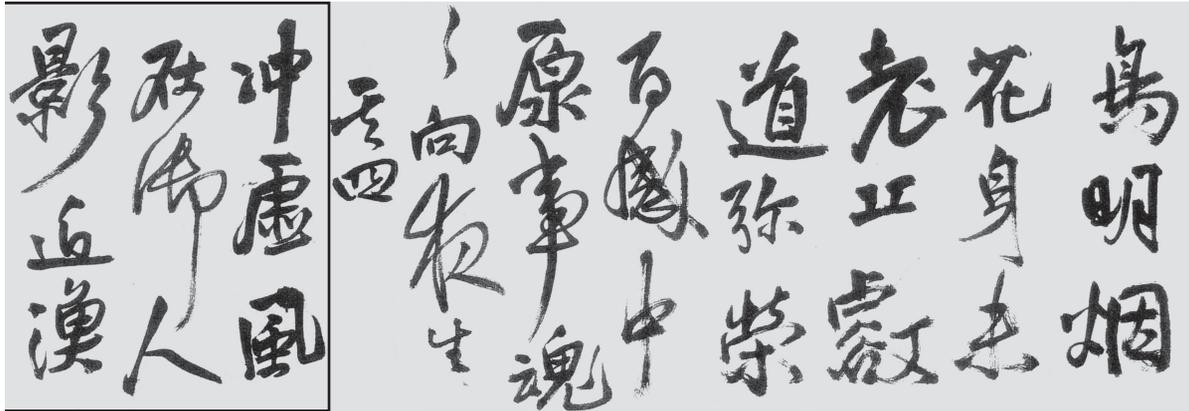
※これは規定課題ではありません。

成 瀬 映 山 先 生

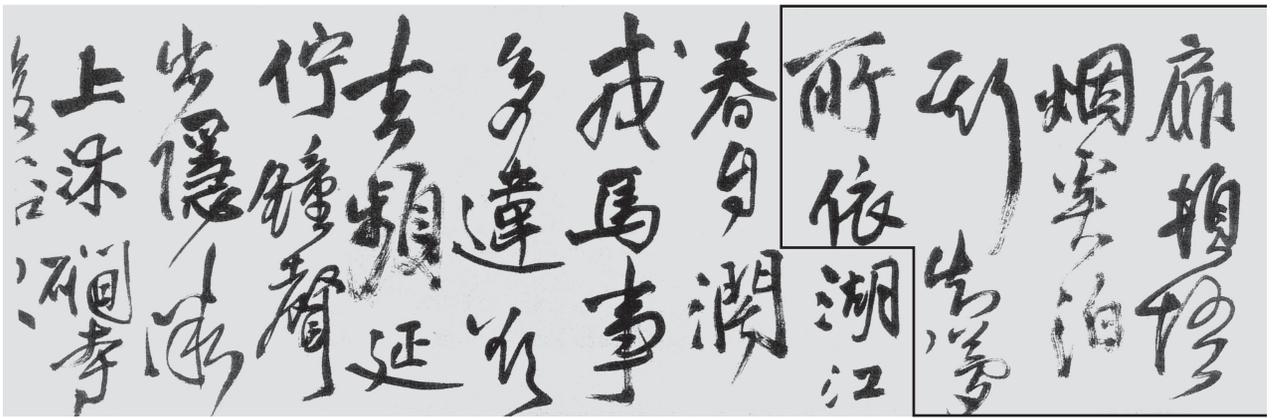
条幅規定

A部 (準五段以上)

B部 (四段～準三段)



王鐸  
「行書五律五首卷」⑦



【鳥明】

烟花身未老

丘壑道彌榮

百感中原事

魂魂向夜生

其四

冲虚風在御

人影近漁扉

頓悟烟奚泊

斯知夢所依

湖江春自潤

戎馬事多違

欲去頻延佇

鐘聲出隱微

上沐禰寺

烟花 身は未だ老いず

丘壑 道は弥いよ榮ゆ

中原の事に百感すれば

魂々 夜に向いて生ず

其四

冲虚 風は御に在り

人影 漁扉に近し

頓に悟る 烟は奚に泊せるかを

斯に知る 夢の依る所を

湖江 春は自ずから潤く

戎馬 事は多く違う

去らんと欲して 頻に延佇すれば

鐘声 隱微より出づ

沐禰寺の後峪に上り

【今月の課題】

「冲虚風在御人影近漁扉頓悟烟奚泊斯知夢所依」(20字)

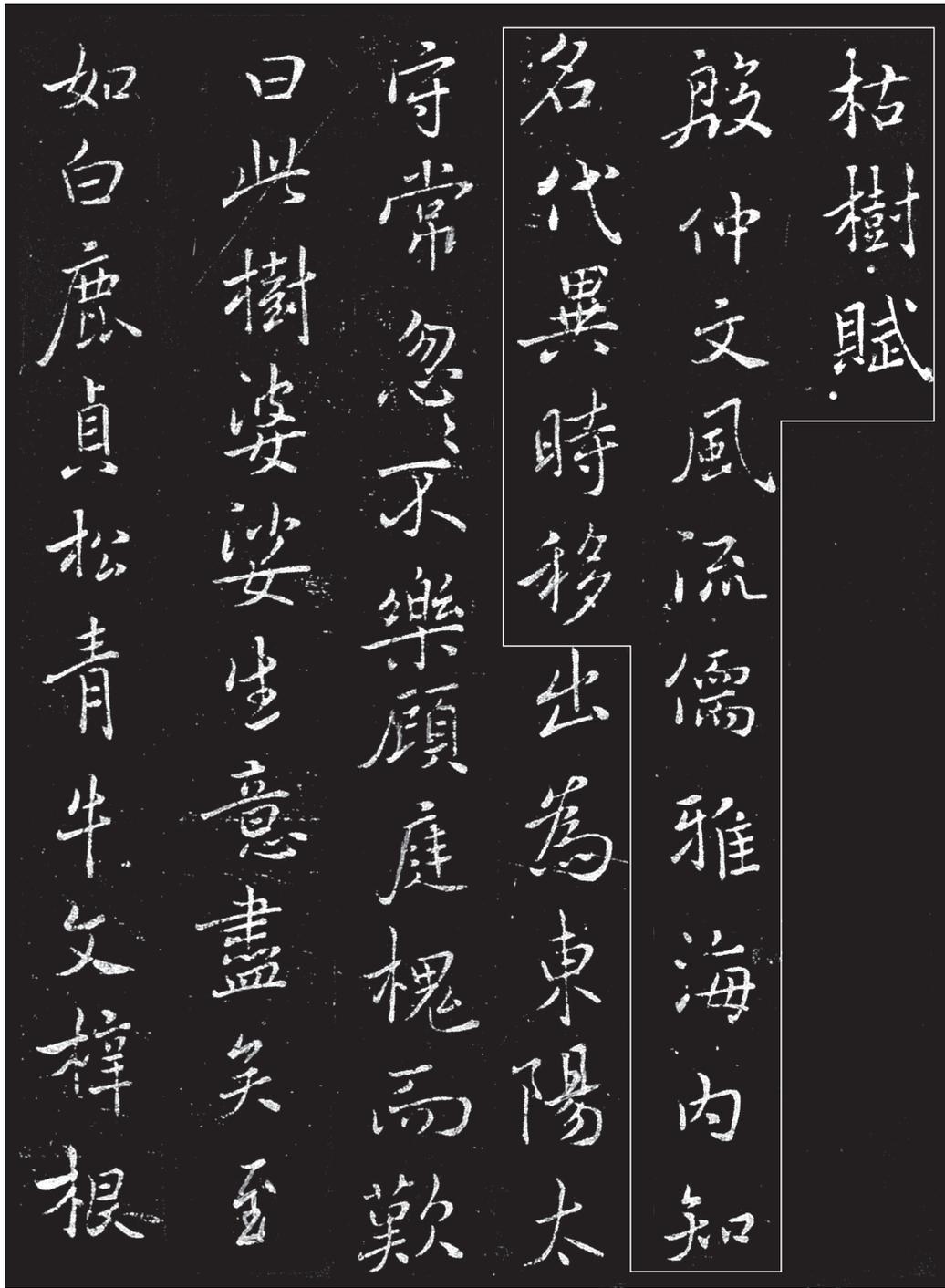
【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く  
段・級を記入してください

(1月10日締切)

『枯樹賦』

楮遂良 (唐) ①



枯樹賦。

殷仲文。風流儒雅。海內知名。代異時移。出為東陽太守。常忽忽不樂。顧庭槐而歎曰。此樹婆娑。生意盡矣。至如白鹿貞松。青牛文梓。根

枯樹賦。  
殷仲文は、風流の儒雅にして、海内に名を知らる。代異なり時移り、出でて東陽の太守と為る。常に忽々として樂しまず、庭の槐を顧みて歎じて曰く、此の樹婆娑として、生意尽くと。白鹿の貞松、青牛の文梓の如きに至りては、根根。

【今月の課題】「枯樹賦殷仲文風流儒雅海内知名代異時移」(18字)

【この課題を同月の条幅随意には出品出来ません】

条幅のバーコード出品券にはA・B・Cでは無く段・級を記入して下さい

(1月10日締切)

半紙規定 (二)

※清書の提出は〔初段以上〕楷書か隸書 〔二級以下〕楷書



九成宮醴泉銘 (唐・欧陽詢)

清若鏡味甘

※清書作品には支部名・段級・雅号を必ず筆で記入して下さい。

鬼方を征す。威は布烈し、

半紙規定 (一)

曹全碑 (漢・作者不詳)



鬼方威布烈

其の清なること鏡の若く、味の甘なること

〔この課題を同月の半紙随意には出品出来ません〕  
(1月10日締切)

条幅参考手本

終南陰嶺秀 積雪浮雲端 林中增暮寒  
 表明霽色 城中增暮寒

田 辺 翠 鶴 先 生

終南陰嶺秀 積雪浮雲端 林中增暮寒  
 終南陰嶺秀す 積雪雲端に浮かぶ 林表霽色明らかに 城中暮寒を増す

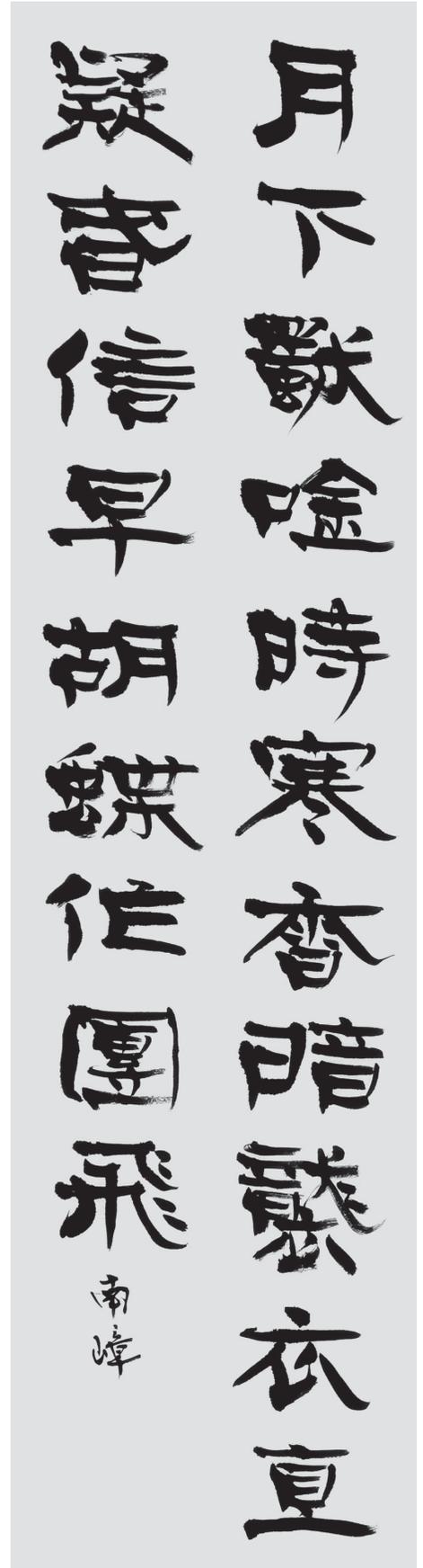
鈴木 翡翠 先生

江動月移石 溪虛雲傍花 鳥棲知故道 帆過宿誰家  
 接知故道 帆過宿誰家

江動月移石 溪虛雲傍花 鳥棲知故道 帆過宿誰家  
 江動いて月石に移り 溪虚にして雲花に傍ふ 鳥棲みて故道を知り 帆過ぎて誰が家に宿る

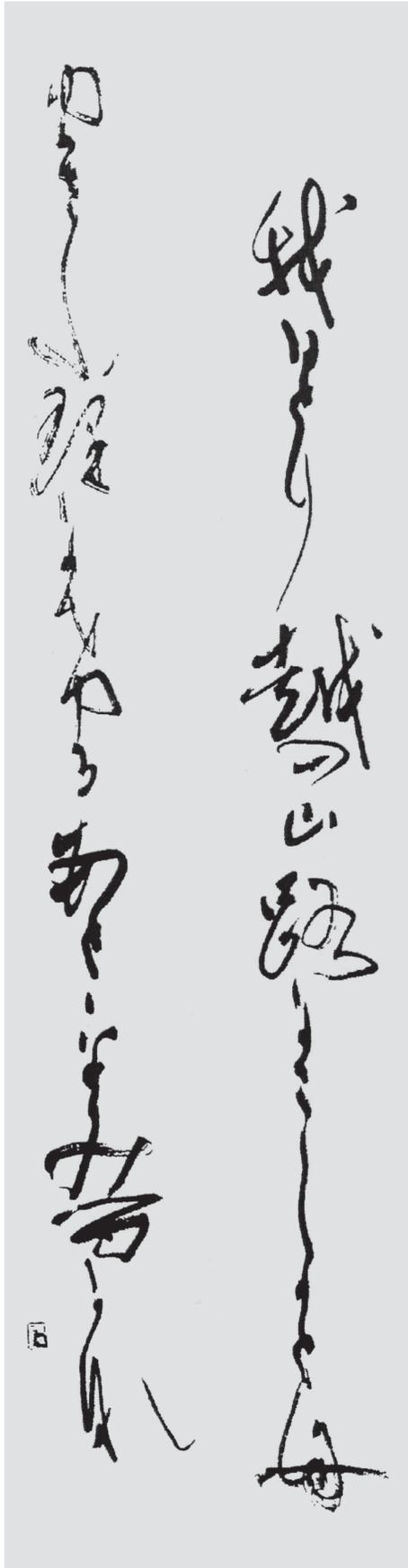
条幅参考手本

条幅かな



渡邊南嶂先生

月下獨吟時 寒香暗襲衣 直疑春信早 胡蝶作團飛  
月下獨吟の時 寒香暗に衣を襲う 直ちに疑う春信の早きを 胡蝶團飛を作す



浮乗清郷先生

われひとり越の山路にこしかども雪降りける跡をみるかな (藤原佐忠)  
我日 越山越 可 母ゆきふ 理爾希 あと手 留可那

※かな部は支部名・段級・姓号を鉛筆で左下部に添え書きして下さい。

(1月10日締切)

半紙かな（1級以下）

枯蘆かれあしやはたくあしと立つた何なんの鳥とり（寺田寅日子）

支部名 級 姓 号（鉛筆可）

※ちらし文字変換は自由

※支部名・級・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

半紙かな（初段以上）

明けぬとて出いでつる人ひとのあと母もなしたとぎただ時ときのま二につもるしらゆき白雪しら（藤原定家）

支部名 段 姓 号（鉛筆可）

船 久 保 棠 苑 先生

※支部名・段・姓号を鉛筆で左下に添え書きして下さい。

（1月10日締切）

実 用 文

※準三段以上…行書を草書に変換は自由

〈書風任意〉

十里の黄雲白日曛し北風雁を  
 吹いて雪紛々愁うる莫かれ前  
 路に知己無きことを天下誰人か  
 君を識らざらん高適の詩より  
 支部 段級 姓 号

主 幹 菅 野 翠 濤

(1月10日締切)

細 字

焙沸香味満室氣動  
 焙沸香味満室氣動  
 焙沸香味満室氣動

支 部

段 級

姓

号

(名前は必ず楷書で書くこと)

※一級以下は草書まで。 初段以上は隷書まで。

※名前は楷書以外では違反になります。

17 cm (よこ) × 24 cm (たて)

焙ばい 気き

沸ふつ 動どう

こうばしい香りをたてて沸く。  
ものの気配がうごく。

(1月10日締切)

硬筆（1級以下）

2行、楷書

支部名 級 姓 号  
 新春のお祝いを申し上げます。  
 心に決めた目標に向かい進んで行こう。

若月 久美子 先生

硬筆（初段以上）

3行、行草書

いよいよ年の瀬。一年の終わりの  
 十二月は終月、臨月、果ての月  
 などの別名があります。  
 支部名 級 姓 号

青柳江雲先生

…瀬…年…終月…。

※本院定型用紙・たて半分を書く

(1月10日締切)

小6用

今年の夢

渡邊南嶂先生

中1用

初春大空

渡邊南嶂先生

中2用

新雪遠山

渡邊南嶂先生

中3用

富岳百景

大越三宗先生

小1用

はつひ

鈴木 翡翠 恵 先生

小2用

かどまま

鈴木 翡翠 恵 先生

小3用

たこ上げ

鈴木 翡翠 恵 先生

小4用

明るいい光

大越 三宗 先生

小5用

元日の朝

大越 三宗 先生

小6用

お礼申し上げます。  
昨年は、お世話になり、

鈴木 蕙 翠 先生

中1用

お願い申し上げます。  
本年もよろしくご指導

青柳 江 雲 先生

中2用

祝いを申し上げます。  
賀春、心より新年のお

青柳 江 雲 先生

中3用

多幸をお祈り申します。  
新年を祝し、皆様のご

青柳 江 雲 先生

小1・幼年用

あけましておめでとう  
ございます。

齋藤 翡翠 流 先生

小2用

お正月に、かるたやト  
ランプであそびたい。

齋藤 翡翠 流 先生

小3用

今年もよろしくおねが  
いします。一月一日。

齋藤 翡翠 流 先生

小4用

新しい年の初めを、お  
いわい申し上げます。

鈴木 蕙 翠 先生

小5用

本年が良い年になるよ  
う願っております。

鈴木 蕙 翠 先生